

ゲノム医療実現バイオバンク利活用プログラム（次世代医療基盤を支えるゲノム・オミックス解析）
令和 4 年度採択課題事後評価 評価コメント

評価課題名	研究開発 代表者名	所属機関	役職
COPD の病態解明・新規治療開発のための空間シングルセル・マルチオミックスデータベース構築	遠西 大輔	岡山大学 岡山大学病院ゲノム医療 総合推進センター	研究教授

【評価コメント】

当該成果に令和 3 年度分を加えた 100 例の COPD 患者の血液・肺組織を用い、臨床データを備えた多階層のオミックスデータが取得されており、価値の高いデータセットが得られている。また、企業の利用が可能となる同意書を作成した点や、前向き試料の取得が計画に対して減少した際に、既存試料の解析を追加し対応した点も評価できる。

今後は前向き症例にて取得予定であった空間マルチオミックスデータセットの充実や、時系列オミックスデータの収集をご検討いただきたい。構築したデータセットを用いることにより COPD の進展に関連する分子病態が明らかとなり、その後の臨床応用、実用化につながることを期待する。